

2023 年度  
第 2 四半期レポート

2023 年 10 月 31 日

一般社団法人 Japan Automotive ISAC

## 目 次

【第1章】 運営委員会からの活動報告 .....	3
1. 23年度第二四半期活動紹介_関係省庁訪問 .....	3
2. AUTO-ISAC との MOU 締結 .....	3
3. 第二四半期に入会いただいた新規会員 .....	3
4. 連絡事項 .....	3
【第2章】 技術委員会からの活動報告 .....	4
■ はじめに .....	4
1. 23年度活動計画と実績報告 .....	4
2. 【トピック報告】 SBOM-SWG 新設 ('23/4) .....	6
【第3章】 サポートセンターからの活動報告 .....	8
1. 「サイバーセキュリティ診断」について .....	8
2. 「製品セキュリティ診断」について .....	9
3. 「ガバナンス診断」について .....	11
4. ホームページリニューアルについて .....	11
【第4章】 SOC (セキュリティオペレーションセンター) からの活動報告 .....	12
1. 2023年度 第2四半期の概要 .....	12
2. SOC新情報共有基盤 (新情報 DB) .....	14

## 【第1章】運営委員会からの活動報告

### 1. 23年度第二四半期活動紹介\_関係省庁訪問

10月5日に運営委員4名\*で国土交通省 自動車局 審査・リコール課、経済産業省 製造産業局、ならびに自動車課商務情報政策局 サイバーセキュリティ課をそれぞれ訪問させていただき、J-Auto-ISACの活動状況の紹介と意見交換を実施いたしました。

\*訪問者：平林運営委員長、内藤運営副委員長、山崎技術委員長、中島サポートセンター長

### 2. AUTO-ISAC（米国）との連携に関する覚書締結について

10月17日にAUTO-ISACと自動車サイバーセキュリティに関する情報共有活動において協力して推進する基本合意をいたしました。これにより両団体間での各種情報や活動成果物の共有等を進めていきます。本内容は10月18日のAuto ISAC Cybersecurity Summit2023にて合同で公表しました。

### 3. 第二四半期に入会いただいた新規会員

新規入会会員

- ・シルバー会員 ダイアゼブラ電気株式会社
- ・ブロンズ会員 株式会社アトリエ
- ・ブロンズ会員 株式会社アルファ

新規会員からの一言（アトリエ）

J-AUTO-ISACでは、SBOMなどの「業界全体でコンセンサスが必要なテーマ」に対して活動を行っており、その成果が自動車業界に普及されることを期待しています。アトリエも、培ってきた知見を活かして活動に参加したいと思いますので、よろしくお願い致します。

### 4. 連絡事項

2024年1月16日に臨時総会（第6回）を開催します。リアル/Teamsのハイブリッドでの開催を予定していますので、皆さん参加ください。

以上

## 【第2章】技術委員会からの活動報告

### ■ はじめに

技術委員会では、23年度の活動計画にのっとりWG/SWGの活動を推進しています。

3年目となる活動のさらなる充実と拡大に向け、技術委員会傘下に「TC 課題検討 TF」を立上げ活動を開始しました。また、技術委員会活動人員の推移について表1に示しますが、第2四半期での参加メンバー数の増減は僅かの状況です。

23年度からSBOM SWGを新設し活動を開始していますので、本章のトピックとして報告します。

表1 技術委員会活動人数の推移

委員会/WG/SWG	発足時点 (21.6月末)	臨時総会 (21.12.20)	定期総会 (22.6.24)	臨時総会 (23.1.17)	活動報告会 (23.5.31)	23.10.01 時点	前回比増減
技術委員会	258	310	334	347	370	368	(2)
延べ参加人数	258	310	334	347	370	368	(2)
委員会活動参加企業数/会員企業総数	66/88	78/98	78/100	80/107	83/111	83/110	0
情報共有WG	115	136	128	132	121	118	(3)
インシデント対応事例検証SWG	47	54	47	50	43	40	(3)
脆弱性対応SWG	55	66	65	66	64	65	1
グローバル連携SWG	11	12	12	12	11	11	0
スキルアップWG	88	105	108	105	105	100	(5)
協同演習SWG	17	18	18	18	20	19	(1)
個別研修SWG	20	24	26	25	22	19	(3)
ベストプラクティス策定SWG	26	30	32	33	33	33	0
セキュリティ人材育成SWG	25	30	29	27	27	26	(1)
課題抽出&解決推進WG	55	67	78	73	111	117	6
サプライチェーンリスク対応SWG	33	39	38	35	34	34	0
データベース&ポータル機能拡張検討SWG	11	13	14	11	10	14	4
情報共有プラットフォームSWG	11	13	13	14	14	14	0
フォレンジック検討SWG ('22.4.28発足)	-	0	11	11	13	13	0
SBOM-SWG	-	-	-	-	38	42	4
用語定義TF ('21.12.3発足)	-	12	12	13	13	13	0
法規動向調査TF ('22.4.21発足)	-	-	8	8	8	8	0
アンケートTF	-	-	-	6	6	6	0

赤字 ( ) は減少

### 1. 23年度活動計画と実績報告

#### 1) 技術委員会活動成果物実績、社外発表等活動実績の報告

表2に活動成果一覧を示します。また表3に社外発表の活動実績一覧を示します。

表 2 活動成果物一覧（発行成果物と発行予定）

時期	成果物
2023年5月	・技術委員会用語集（正式フォーマットで発行）：用語定義 TF
2023年6月	・インシデント事例分析レポート#1 ・第2回協同演習の実施（6月29日）
2023年7月	・脆弱性分析レポート#1
2023年8月	・自動車産業全体で連携して取り組むCS品質向上活動の必要性（役員向け）動画版公開
2023年9月	・インシデント事例分析レポート#2 ・クルマのサプライチェーンにおけるサイバーセキュリティ取り組みガイド Ver1.01 発行 ・協同演習分析レポート速報
2023年10月	・脆弱性分析レポート#2
2023年11月	・クルマのサプライチェーンにおけるサイバーセキュリティ取り組みガイド Ver1.05 完成（知財権確認中） ・インシデントレスポンスベストプラクティス(概要版)改訂
2023年12月	・第2回法規動向調査TF説明会（第2回活動報告会の中で説明） ・インシデント事例分析レポート#3 ・スキルチェックシート Ver2.0 ・インシデント対応ベストプラクティス詳細版
2024年1月	・自動車業界全体で連携して取り組むCS品質向上活動の必要性(役員向け)動画のHPでの一般公開 ・協同演習分析レポート発行&説明会（第2回活動報告会の中で説明）
2024年2月	・インシデント事例分析レポート#4 ・脆弱性分析レポート#3
2024年3月	・脆弱性状況共有テンプレート公開 ・SBOM作成・運用ガイド（初版）

表 3 社外発表等の活動実績一覧

時期	外部講演関係
2023年5月	・第1回技術委員会活動報告会
2023年7月	・JBpress 第4回サイバーセキュリティフォーラム ・自動車技術会 自動車技術会フォーラム 2023（夏季）
2023年8月	・JNSA セミナー
2023年9月	・自動車技術会 自動車サイバーセキュリティ講座 2023 ・2023年度技術委員会アンケート実施
2023年10月	・北米 Auto ISAC Cybersecurity Summit2023
2023年12月	・第2回技術委員会活動報告会（一部を1月にも実施）
2024年1月	・サイバーセキュリティフォーラム@オートモーティブワールド（予定）
2024年3月	・Auto ISAC との MOU 締結（予定）

第1四半期同様、第2四半期もほぼ毎月成果物を委員会内で発表出来ている。また社外への発信も積み重ね、新たに会員となる会社のきっかけにすることも出来ている。

2) 23 年度活動計画と第 2 四半期までの取組み/進捗報告

表 4 に 23 年度の活動計画と第 2 四半期までの進捗を示します。

**表 4 技術委員会 23 年度活動計画と第 2 四半期までの取組み/進捗**

実施項目	今年度の目標	第 1 第 2 四半期の取組み/進捗
1) 技術委員会の戦略策定 業界に必要なサイバーセキュリティ対応能力の強化に向けた戦略の策定	J-Auto-ISAC 中長期目標と整合の取れた技術委員会の中期活動計画（5 年）の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携先（JAMA、等の業界団体）との役割分担の整合・合意： JAMA、JSAE、Jaspar との連携を議論する場にて J-Auto-ISAC に関連する議題（セキュリティ人材育成・教育/ソフトウェア管理、SBOM 等）について役割を整合する必要性を確認し合って、年内に議題毎に関係団体でキックオフ開催を合意。</li> <li>・各 TF 策定の方針と整合の取れた中期活動計画の策定： 将来 TF の 2～3 年、及び 20230 年の目指す姿に対して技術委員会としての方針・意見を具申して整合活動継続中</li> </ul>
2) 技術委員会傘下 12 のサブワーキング（以下 SWG）活動を通じて参加会員の活発な意見交換やナレッジ共有を継続すると共に、参加各社のサイバーセキュリティ対応能力の強化に貢献できる成果物の発行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) SWG 活動を通じて参加会員の相互の活発な意見交換やナレッジ共有を継続</li> <li>2) 昨年度計画した継続案件、及び今期活動計画に基づいて定めた成果物の発行</li> <li>3) PDCA の実施 ・昨年度活動の振り返りの実施 2023 年度の上期末を目途に委員会活動全体の成果物の策定 &amp; 改訂計画策定</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 各 SWG 定例会議継続(1 回/月以上) リモートのみからハイブリッド開催も実施</li> <li>2) 表 3 記載の成果物を計画通り発行 協同演習を実施(6 月)</li> <li>3) アンケート TF にて SWG 参加者アンケートの実施と分析を行い、ルール、全体活動、SWG 活動にフィードバックした。 また、第 1 回活動報告会の実施と参加者アンケート分析、次回報告会への反映を実施。 23 年度成果物計画策定完(表 3 参照)</li> </ol>

23 年度第 3 四半期以降も、本計画に基づき、技術委員会活動をさらに発展させていけるように進めていく。

## 2. 【トピック報告】 SBOM-SWG 新設（'23/4）

### 1) SBOM-SWG 設立の背景

- ・ OSS の利用拡大に伴い、その脆弱性管理を主な目的として SBOM の活用検討が各業界で始まっている。
- ・ 米国大統領令、欧州サイバーレジリエンス法、日本での経産省のタスクフォース、等を起点に義務化、標準化などの検討が活発化。
- ・ 自動車業界でも、米 Auto-ISAC が情報レポートを'22/3 に発行、Jaspar, JAMA でも議論を開始。

- J-Auto-ISAC 技術委員会では、22 年度から TF を立上げ検討を開始しており、この検討をベースに、23 年度から SWG として活動を拡大し早期に成果を纏められる体制とした。  
【SBOM とは】（引用：経産省 HP）  
SBOM とは、ソフトウェアコンポーネントやそれらの依存関係の情報も含めた機械処理可能な一覧リストである。SBOM には、ソフトウェアに含まれるコンポーネントの名称やバージョン情報、コンポーネントの開発者等の情報が含まれる。Software Bill of Material の略。

## 2) SBOM SWG のメンバー

- （発足時）26 社 38 名、（11 月 1 日時点）28 社 41 名

## 3) SBOM の狙いと活動

- 脆弱性情報と SBOM(OSS 情報) を突合せることにより、以下の効果をねらう。
  - 脆弱性のあるソフトウェアの特定を素早く行う
  - 脆弱性のあるソフトウェアの特定にかかる工数を削減
  - インシデント発生時の対応を素早く行う
  - OSS 以外の SW に対しても脆弱性やバグへの早期対応を行う
- 主に以下の 3 つの分野に取り組む。
  - 業界共通で参照できるガイドづくり
  - 外部団体（特に北米 Auto-ISAC）との歩調合せ
  - 各国動向への追従
- SBOM 利用ガイドの作成・作成を通じて自動車業界における SBOM 活用の道筋を示す。
  - 毎月の全体定例及び小グループ活動会の開催し SBOM の活用やガイドの内容を議論
  - 各国や他業界および他団体との SBOM 利用方針に対する方向性合わせのため動向調査実施

## 4) SWG の活動実績と成果目標

- 技術委員会活動報告会（5 月）での活動方針説明
- 北米 Auto-ISAC Summit 参加を通じて SBOM WG との連携開始（10 月）
- 自動車業界で共通的に参照できる SBOM 活用ガイドを作成し発行（24 年 3 月）
- ガイドの普及・浸透に向けた活動方針の計画を立案（24 年 3 月）し実行（24 年 4 月～）

以上

## 【第3章】サポートセンターからの活動報告

### 1. 「サイバーセキュリティ診断」について

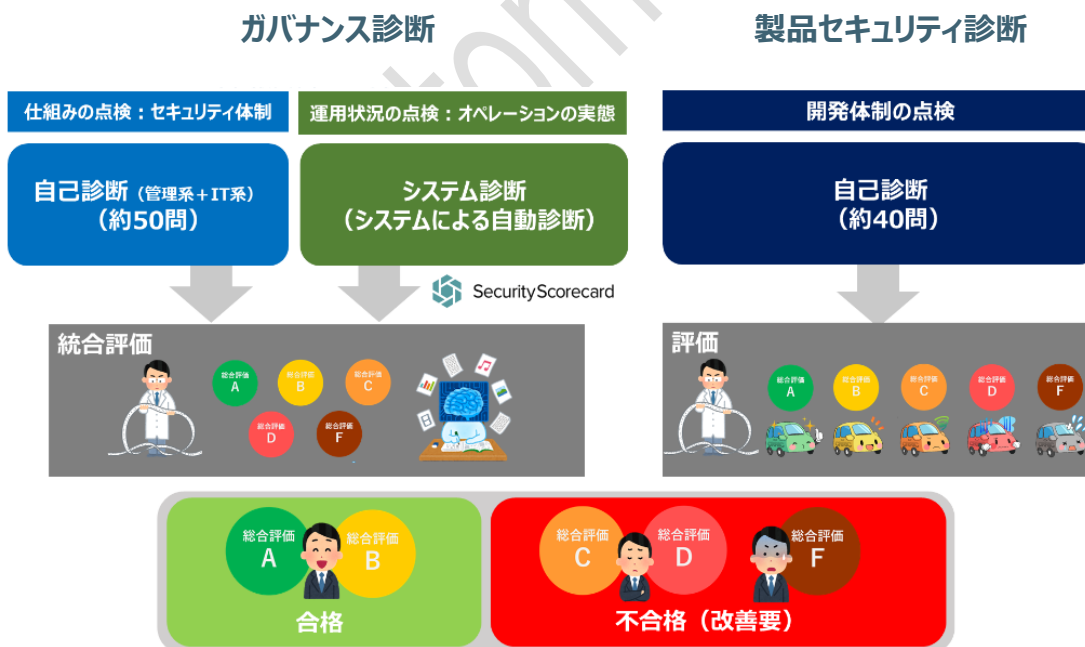
#### <概要>

J-Auto-ISACでは、SOCからコネクテッドカーに関わる脅威・脆弱性情報やインシデント情報が展開され、共有されている。また技術委員会のWG/SWGの活動の中で、他社の機密情報に触れる機会もある。

そこで当センターでは会員が相互に安全に、かつ安心して情報を共有できる“基盤づくり”の一環として、OEM・サプライヤ・関係会社を対象に「サイバーセキュリティ診断」を毎年実施している。

「ガバナンス診断」では、規程や推進体制といった情報セキュリティの仕組みの整備状況を問診票形式で行う“自己診断”に加えて、専用プログラムによる“システム診断”によって会員企業がインターネットに公開している範囲の管理状況を点検し、これらの診断結果を総合的に評価して合否判定を実施している。

また昨年度よりプラチナ会員TFとの協働により、ISO21434の中から優先的に対応すべき事項を抽出して、コネクテッドカーの開発体制の整備状況を点検する「製品セキュリティ診断」を実施している。





## <本年度の実施スケジュール>

実施項目	詳細	4月以前	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降
製品セキュリティ診断準備	準備（項目見直し・サンプル作成等）	→	→	→				
	説明会開催			5/23に説明会開催 37社77名参加				
製品セキュリティ診断実施	診断案内・受付		診断項目見直し サンプル資料作成等	→				
	診断回答回収			→	60社より申込			
	診断レポート準備・配布				→	→		
	診断アンケート回収・取りまとめ					→	→	
カバンス診断実施 (新規会員向け)	診断案内・受付				→			
	診断回答回収・レポート配布				→	→	→	→
個別ヒアリング	実施企業の選定					→	→	2023年度新規会員 に順次ご案内
	実施企業への打診と日程調整					→	→	
	実施準備					→	→	
	個別ヒアリング実施						→	→
実施結果の取りまとめ							→	→
施策への展開	アクション方針の検討・実施					12社に 個別ヒアリングを実施		→

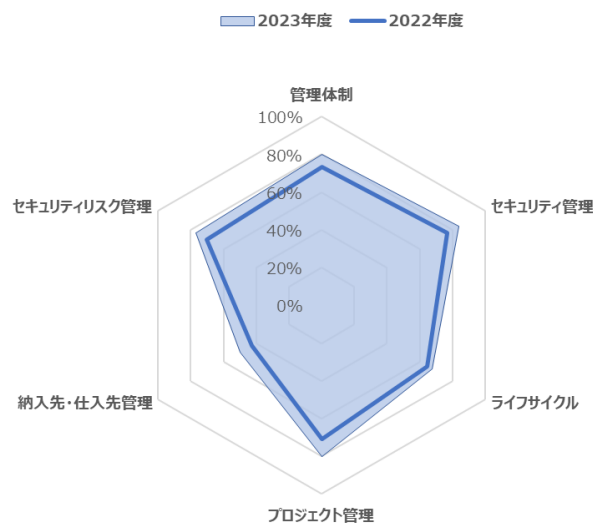
## 2. 「製品セキュリティ診断」について

本年度は会員企業のフィードバックを反映して、設問文の見直し、補足説明や例示の追加および回答方法についても一部見直しを行った。

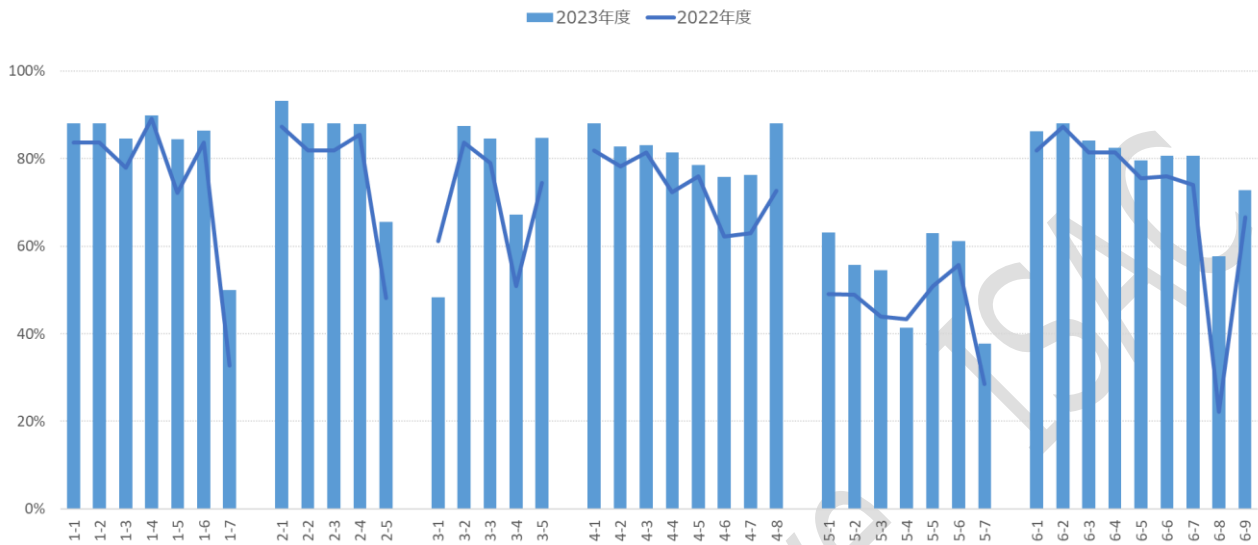
### <診断結果の概要>

前年度の診断結果から「実施済（Yes）」が約7ポイント増加して、多くの会員が合格圏に入ってきた。ただ依然として一部の会員は当センターが設定した合格ラインに達していないことが明らかになった。またカテゴリや個々の設問に関してもカイゼンの進捗に差があり、問題点が顕在化してきたと考えている。

### <カテゴリ別の進捗状況>

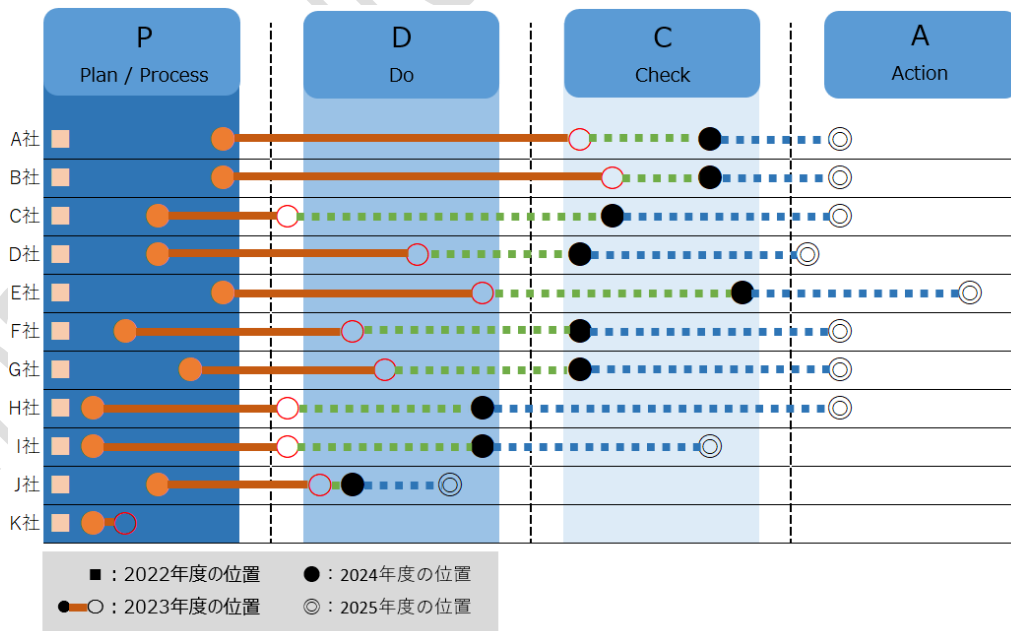


<設問別の進捗状況>



<今後の取組み>

当センターでは合格ライン未達の全会員に個別ヒアリングを実施した。その結果、多くの会員は計画的にカイゼンに着手していることが分かったが、一部の会員から「カイゼンの見込みがたない」との声があり、新たな対策の検討を始めた。



### 3. 「ガバナンス診断」について

本年は底上げ活動にリソースを集中するため、新規会員のみを対象に実施している。

### 4. ホームページリニューアルについて

当法人の情報発信力を強化するため、ホームページリニューアルを2023年6月に実施し、随時コンテンツを追加・更新している。会員向けサービスや成果物の紹介など、当法人の魅力を積極的に発信することを通じて、会員の満足度向上および新規会員の獲得を目指している。

#### <主なコンテンツ>

#### 1 映像コンテンツを公開 (J-Auto-ISAC紹介映像①②)



#### 2 WG/SWG紹介ページ公開 (現在は一部SWGのみ、全SWGの紹介は今後更新予定)



#### 3 活動実績「第2回サイバー協同演習」の記事を公開



#### 4 ニュース欄 (トップページに掲載) での情報発信 ・「お知らせ」「入会情報」… 4件 ・「イベント情報」「記事・コラム」「活動実績」… 11件



以上

## 【第4章】SOC（セキュリティオペレーションセンター）からの活動報告

### 1. 2023年度 第2四半期の概要

2023年7月から9月の92日間で提供した週次情報レポートの件数はトータル96件でした。図1内訳を示します。脅威・脆弱性情報の報告件数は前回の2023年度第1四半期から件数はほとんど変わらず、引き続き車両に関わる新規の重大な脅威・脆弱性情報及びインシデントの発生はありませんでした。

- |            |     |
|------------|-----|
| ① 脅威・脆弱性情報 | 53件 |
| ② 業界動向情報   | 43件 |

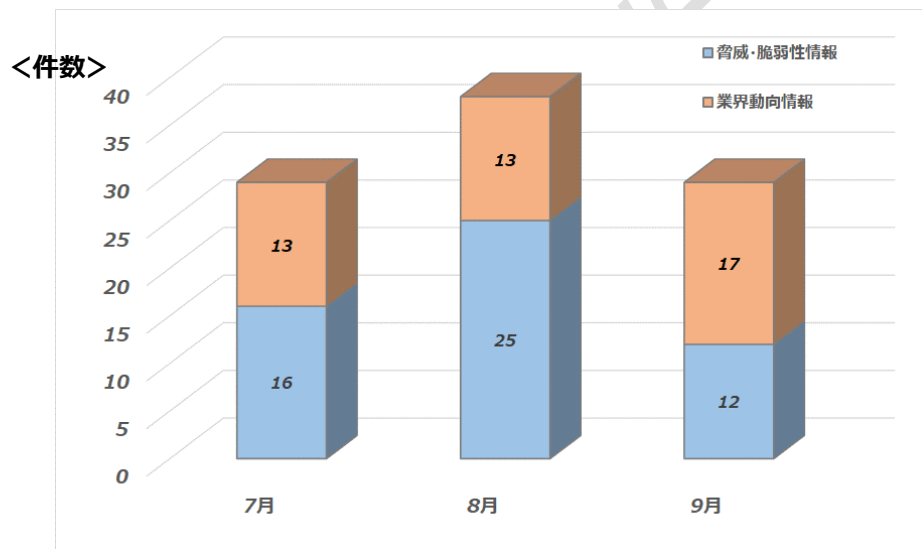


図1 週次情報レポート 提供件数

※脅威・脆弱性情報件数は、自動車に係わる情報のみであり、かつ同一案件を除く

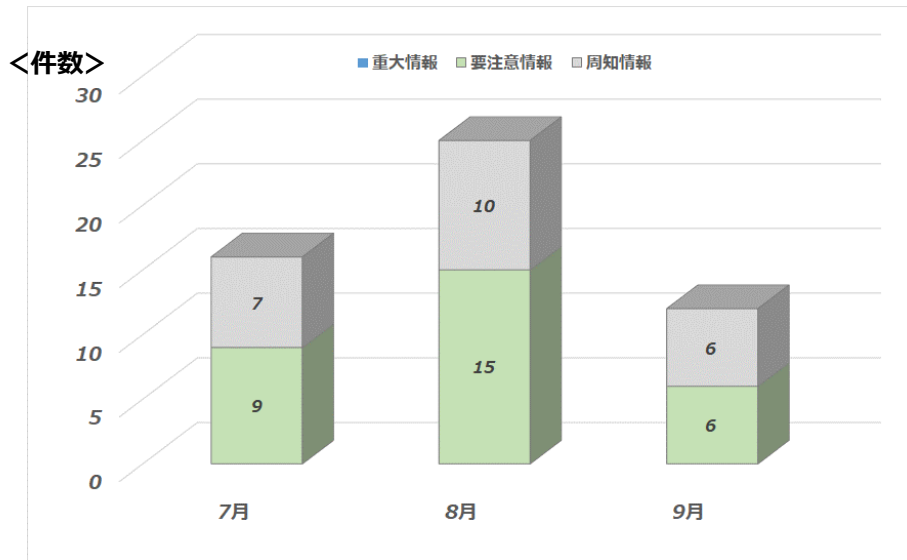


図2 脅威・脆弱性情報 レベル別件数

又、第2四半期において、自動車メーカーに係わる脅威・脆弱性情報レポートの件数はトータル13件でした。9月にOEM関連案件が増えたのは、同一案件に該当OEMが多数あったためです。ただし、真偽の確認ができない情報も含まれているため、注意が必要です。

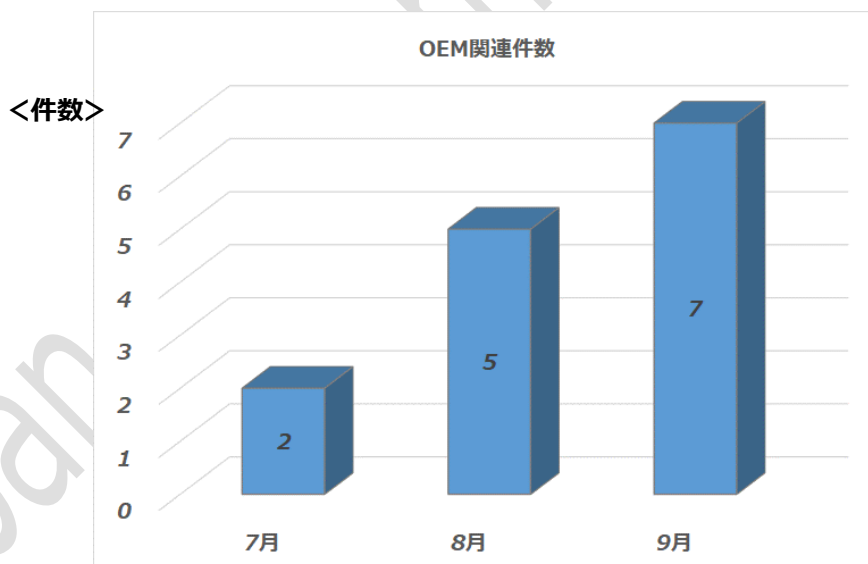


図3 OEM関連の週次情報レポート件数

次に、月次の事例分析レポートの件数はトータル 14 件であり、その内訳を以下に示します。

- |            |     |
|------------|-----|
| ① 脅威・脆弱性情報 | 8 件 |
| ② 業界動向情報   | 6 件 |

## 2. SOC 新情報共有基盤（新情報 DB）

### 1) 新情報共有基盤（新情報 DB）のサービス開始

10月1日から、機能改善に向けた“新情報共有基盤（新情報 DB）”のサービスを開始しました。サービス開始以降に大きなトラブルは発生していません。図4に新情報基盤の全体像を示しています。新情報基盤での主な機能向上に対する達成度合いは以下の通りです。

- a) 検索速度の向上（従来比、2分の1程度に短縮）  
⇒ 公開脆弱性情報41万件を含めた検索において、目標レベルの検索速度を達成（目標達成）
- b) 検索機能の改善（検索時の表記ゆれ吸収）  
⇒ 検索手法のくふうにより、表記ゆれを吸収可能（目標達成）
- c) 情報 DB アクセスへの登録変更までの時間短縮  
⇒ 新情報基盤からの登録申請が可能（時間短縮：約1/2）（目標達成）
- d) 提供情報に対する質問の容易化  
⇒ メイン・個別レポートの両画面から質問が可能となり、質問が大幅に増加（目標達成）

### <新情報共有基盤>



図4 新情報共有基盤の全体像

新情報共有基盤は、当初想定した機能向上をほぼ達成していますが、使い勝手向上に向けて更なる改善活動を進めていく予定です。

以上



**一般社団法人 Japan Automotive ISAC**

〒108-6028 東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティA棟 28階

e-mail : [info@j-auto-isac.or.jp](mailto:info@j-auto-isac.or.jp)

<https://j-auto-isac.or.jp/>